

簡易均平作業法をマニュアル化

－ 田面をきれいに均してほ場をリセット －

○田面の凹凸で栽培管理に支障はありますか？

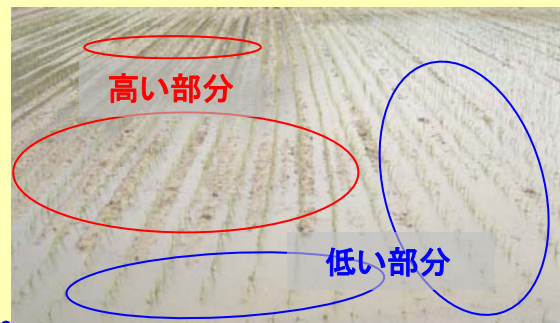
田面の凹凸は、収穫作業での轍跡、転換畑利用など日頃のほ場作業や作付体系が影響しています。

→ 通常の代かき作業で修正しきれない場合は試してください。

○これまでは

- ・ 重装備を要するレーザー均平
- ・ 手作業による多労 に対応。

これからは新技術で田面凹凸をリセット。



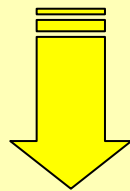
田面に凹凸のあるほ場

○求める技術

- ・ 重装備を要しないこと
- ・ 簡易作業であること
- ・ 一定の均平度が確保できること

○均平作業の前提

- ・ 田面の凹凸を把握すること



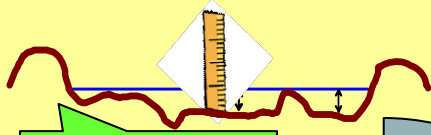
簡易作業法の提示

○土工計算と運土計画の作成（一定の精度）

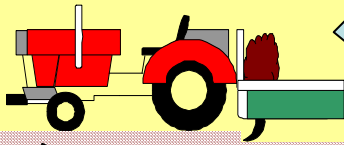
○トラクターダンプによる切土・運土・盛土作業
（簡易な装備と作業）

◎一連の作業方法をマニュアル化

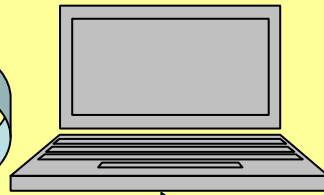
一連の作業過程



田面高測定



切土・運土・盛土

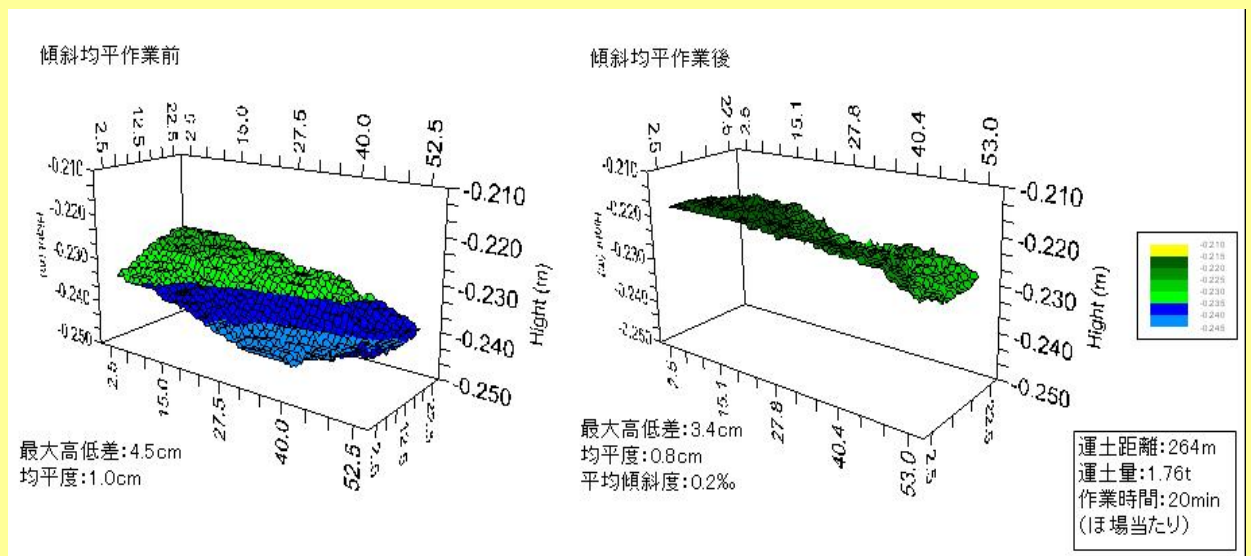


土工計算

作業のポイント

- ・どこの土を
- ・どれだけ
- ・どこに
- ・どうやって運ぶか

簡易傾斜均平作業の効果



[成果の活用面・留意点]

1. 試験は、灰色低地土地帯の13アール (24×55m) 区画ほ場において行ったものである。
2. 土工計算は、①ほ場を格子状に区切って測定して全地点の平均比高と各測定値点の田面高との差を求め、格子ごとの運土量を算出する、②各格子について周辺格子との運土量の平均値を求めて各地点の値を均す、③各格子の運土量をトラクターダンプの切土量 (0.22t) で除し、切土及び盛土回数を整数値になるよう処理する内容である。
3. 土工計算では、田面の傾斜の有無を選択できる。
4. 田面高測定及び切土ー運土ー盛土作業は、耕耘前等の状態で行う。
5. 土工計算の計算様式は、Excelシートで提供可能である。作業手順については「簡易均平作業マニュアル」を参照。

(問い合わせ先) 鳥取県農林総合研究所農業試験場 作物研究室 電話 0857-53-0721

※本書から転載・複写する場合は、必ず農業試験場の許可を受けてください。